

株式会社神戸製鋼所

神戸発電所

この企業の製品と繋がる履修科目

【機械系科目】

機械工学



繋がる理由

施設などで使用される設備や機器などを定期的に点検・修理することで、故障やトラブルを未然に防止し、設備の寿命を延ばすことを目的とした業務です。トラブル発生を防止するために、企業にとって非常に重要な業務となっています。

機械工学の知識を持った技術者が設備保全業務に従事することが一般的で、設備保全においては、**機械工学の知識が定期的な点検やメンテナンスだけでなく、設備の改善や更新なども役に立ちます。**

熱力学



繋がる理由

設備保全においては、熱による故障やトラブルが発生する可能性があるため、熱力学が重要です。設備が正常に動作するためには、適切な温度や熱を保持することが必要で、設備の故障の原因は、過剰な熱や温度変化などが原因であることがありますので**熱力学の温度制御や熱の移動の分析の知識が役に立ちます。**

【電気系科目】

電気工学



繋がる理由

設備の多くは電気を動力源として使用しており、電気系統のトラブルや故障は重大な影響をもたらすことがあります。電気系統には、配線や電気制御装置などの部品が含まれており、これらの部品に問題が生じると、設備が正常に動作しなくなる場合があります。**電気工学において点検や保守を行うための知識が役に立ちます。**

【情報系科目】

制御工学



繋がる理由

設備保全において重要な役割を果たす分野です。設備は、制御系統によって正確に動作しています。制御工学の知識を持つ技術者は、設備の制御系統を正確に評価し、問題がある場合には適切な修理や交換を行うことができます。**制御工学は設備の制御システムを評価し、システムのパフォーマンスを向上させるために役立ちます。**

この企業のポイント

- 神戸製鋼所は、鉄鋼、溶接、アルミ・銅、機械、エンジニアリング、電力などの事業を行っている、国際ブランド名「KOBELCO（コベルコ）」で知られている、大手メーカーです。
● 専業メーカーには無い、多様な事業を展開している当社だからこそ蓄積されている「要素技術」を活かした成果に他なりません。また、製品の性能だけでなく、製造プロセス技術等にも多くの要素技術が活かされています。

製品はここで使われています！

兵庫県神戸市にある神戸発電所は2002年に稼働を開始しました。当時神戸市で使われている電気のほとんどは、六甲山を越えて送られてきており、消費地と発電所の距離が遠い状態にありました。そこで当社は地域と共生する新しいスタイルの「都市型発電所」をテーマとして神戸発電所を設立。これにより、神戸市に電気を送る系統は2つとなり、安定した電力を供給できるようになりました。当発電所は石炭火力発電所で、出力は140万kWです。これは神戸市のピーク需要の70%をまかなうことができる規模で、大都市におけるライフラインの確立、地域へのエネルギー供給、環境の保全と景観デザインといった様々な面で地域社会に貢献しています。